

大麻東中学校の教育活動から

- ① 地域との連携・協働による子どもたちの学び
- ② 小中一貫教育による子どもたちの可能性の伸長
- ③ SDGsをテーマとした3年間の系統性ある学び
- ④ 「優しさあふれる大麻東中学校」の取組

①地域との連携・協働による子どもたちの学び

町内会や地域の施設の方達から温かいお声をいただきながら、教育活動を進めています。6月上旬には特別支援学級の子どもたちが「ココルクえべつ」の皆さんと花の苗植えを行います。また、今後、町内会の方達に吹奏楽部の演奏を披露する予定も立てています。地域との関わりの機会を大切にします。



ココルクえべつさんでの花の苗植え



小学校6年生の中学校体験（保体）

②小中一貫教育による子どもたちの可能性の伸長

大麻東中、大麻東小、大麻泉小の3校の連携・協働により、子どもたちが安心して学べる環境づくりに努めます。目指す子ども像を「かんがえ、つたえあう子」「おもいやりのある子」「すこやかな子」と設定し、小中学校でさまざまな取組を検討・実施しています。地域の方の声に耳を傾け、振り返りながら進めていきます。

③SDGsをテーマとした3年間の学び

総合的な学習の時間のテーマとして、SDGs（持続可能な開発目標）にある17の目標について、自分たちの生活と照らし合わせながら考えていく学習を進めています。子どもたちが生きる未来の社会を想像し、より良いかたちでつなげるために必要なことを外部人材の活用や友達との対話を通して、考えを深めています。



オンラインによるSDGsの学習



日常の道徳の授業

④「優しさあふれる大麻東中学校」の取組

「担い」「認め合う」場面を創出し、自分や周りの人を大切にする気持ちを育むように努めます。道徳の授業は担任だけではなく副担任も担当し、多くの人との対話を通して、簡単には割り切れない人と人との関わり方等について考えています。また、8月には、生徒会主催の「いじめ根絶撲滅集会」を開催し、子どもたちが主体となった活動を進めます。